

令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第11回）

日 時：令和8年3月12日（木）午後6時～午後8時10分

出 席：大橋（会長）、加藤（副会長）、小笠原、長谷川、岩元、能村、森、広瀬（敬称略）

欠 席：内金崎

傍 聴：なし

事務局：高木（西砂学習館係長）、水崎（西砂学習館職員）

1 開会挨拶（会長）

（会 長）：気温が低い中、参加くださりありがとうございます。令和7年度に地運協で企画したイベントはすべて終了した。地運協の期末は5月末なので、3月・4月で今年度の振り返りを行い、令和8年度につなげるために皆様のご意見を伺いたい。

2 協議、報告及び連絡事項

（1）第10回運営協議会（2/12）の会議録（案）について

（事務局）：修正点等がある場合には、2週間以内（3月26日まで）に事務局に連絡をお願いする。（資料1）

（2）地域学習館運営協議会交流会（2/14）について

（事務局）：資料2を基に説明。出席委員：会長、A委員、B委員

（会 長）：参加された委員から、ご意見やご感想があれば伺いたい。

（委員A）：センター長の解説は、地運協交流会に参加しているメンバーはすでに理解していることだと感じた。組織や狙いの復習ではなく、もっと掘り下げてほしかった。しかし、グループ討議は有意義なものだった。

（会 長）：センター長からは、立川市としての方針等を聞きたかった。

（委員B）：交流タイムは、急に防災の話になったりして、テーマに沿った議論が行われず、また、議論を深めるためには時間が足りず、中途半端だと感じた。前回のこの会議で話し合った「地運協とまつりとの関わり、思い等」についての話題ではなく「地運協が主体となってまつりに取り組んでいるのか」という程度の議論だった。「かわせみ祭」と「かわせみカフェ」は一緒だと認識していたが、「かわせみ祭」は学習館まつりで、「かわせみカフェ」は東京学芸大学の学生が主体となって行う地域活性化講座だと知り驚いた。

（委員A）：学習館まつりで実行委員会方式を取っていないのは幸学習館だけだそう。そのため、地運協も大変なようなので、他館のことながら実行委員会形式にした方が良いのではないかと思った。

（会 長）：高松は施設の老朽化の話題ばかりになりがちだったが、「交流会」なので、各館の現状がよくわかるという点は良かった。

（3）にしすな親子塾（2/15）について

（事務局）：資料3・4を基に説明。

- (会 長)：参加された委員から、ご意見やご感想があれば伺いたい。
- (委員A)：製作を始める前に自己紹介をしたり、BGM を流したり、他の参加者との交流したりなどの工夫があれば、さらに楽しくいい講座になるので少しもったいないと感じた。そのことはE委員にも伝えた。
- (委員B)：前半に参加した。人数の割にテーブルごとのスペースが広く取ってあったため、もう少し近づければ講師もやり易く、参加者も他の親子の様子が分かったのではないかと思った。子どもは楽しそうに製作していたので、内容はとても良かった。
- (事務局)：E委員は、若い先生が経験を積む機会とも捉えられていて、今後ますますいい講師として活躍してほしいと言われていたと記憶している。
- (会 長)：作品をすぐ袋に入れていたのであまり作品の写真が撮れなかった。作って持ち帰るだけでなく、参加者同士のつながりができる鑑賞会等の時間があればさらに良かった。父親が3人参加してくれ、製作している時の親子の関わりは良い雰囲気だった。アンケートは、次回企画の参考にしたい。「工夫して講座を企画してくれてありがたい」という感想を聞くと嬉しくなる。E委員は、親御さんのニーズをよく把握しているので、企画が立てやすいのだと思った。
- (4) 地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会 (3/17 18:30-) について
- (事務局)：3月17日(火)18:30から開催する。地運協委員は全員出席だが、コーディネーターは、2人の委員からご欠席の連絡をいただいている。
- (5) 生涯学習関係職員研修会 (3/19 14:00-) について
- (事務局)：3月19日 14:00から砂川学習館の講堂で開催する。
出席委員：会長、副会長、A委員。
- (6) 西一元氣通信 (第15号) について
- (事務局)：資料5を基に説明。
B委員とC委員には、編集に携わり何度も確認していただいて御礼を申し上げる。講座前に写真撮影の許可を取っていないため、顔をぼかしたり、反転した写真を直したりしてもらった。ありがとうございます。
- (委員C)：コーディネーターの部分は、地域の皆さんが読みやすいように文字を削減し、結果のみを簡潔に記載した。細かい説明は、関心がある方に発信していく。
- (委員D)：3頁「待ち探検」になっている。
- (委員B)：3頁の日付が、「もっと知りたい！砂川の成り立ち」は()で囲ってあるが、「意見交換会」は[]なので、[]に統一してほしい。
- (委員C)：西一元氣通信について、今後はもしよろしければ大橋会長から粗々の原稿をいただき、B委員と自分で編集作業を行いたい。現状のやり方は、大橋会長のご負担が大きいし、作成された文章を手直しすることは心苦しい。
- (会 長)：広報が命だと思っている。文字数が多くなるのは、各戸に回覧された時にコピーを取ったりしてじっくり読んでもらいたいという希望があるからだ。発行に際しては、C委員が申し出てくれたような方法が取ればありがたい。
- (委員B)：2頁目は、写真が多く楽しい様子が伝わってくる。

(委員A) : 今後は、顔はすべてモザイク処理をするのか。

(事務局) : チラシ等で、撮影した写真を報告書に掲載する旨を事前に伝えていれば、そのままに掲載できると考えている。さらに講座当日も再度確認をする。

(委員C) : 撮影されたくない人は、その旨申し出てもらえばいい。

(7) 第8期 西砂学習館運営協議会報告書について

(事務局) : 資料6を基に説明。

全館同じフォーマットで作成する。ご提示した資料について、メール等でご意見をいただき精度の高い内容にしたい。来月には最終形の2年間の活動(案)をご提示する。

(会 長) : 令和6年度のにしすな親子塾の参加は「2組4名」だったのか。

(事務局) : 事務局の評価で記載しているとおり、令和6年度は準備に時間がかかり、学校へのチラシ配布が遅れたことから、募集期間が短かった。そのため、参加者数が全体的に低調だった。サマーイベントも令和6年度は45人、令和7年度は約240人の参加を得ている。

(8) 令和8年度 西砂学習館事業・地域活性化講座の日程(案)について

(事務局) : 資料7を基に説明。

(委員E) : 令和8年度の夏休みは、松中小 : 7/24~8/31、西砂小 : 7/21~8/26の予定だ。

(会 長) : 子どもが人や物に出会う機会を1つでも多く提供したいと考えている。その経験が、将来何かに生きるかもしれない。また、防災講座、西砂川地域に暮らす多国籍の子どもの多文化共生・異文化理解も課題になっていることから講座を考えたほうが良いということであれば、いずれ検討したい。

にしすな親子塾の実施時期は、2月のままでいいか。

(委員E) : 2月11日に市内すべての児童館の合同事業があるため、2月14日か21日が望ましい。

(会 長) : 子育て世帯が集い、関わる機会は貴重だと思う。また、来年度のサマーイベントの講座については、それぞれの委員が情報を集めておいてください。

(委員A) : 12月から西砂シアターが始まった。映写は職員1人で行い、会場設営等も大変なので、地運協と共催という形にして委員が運営を手伝ってはどうか。西砂川地域の高齢者が立川駅周辺まででかけて映画を観ることは難しいので、西砂学習館で見られるととてもいい企画だし、内容もいいものを選んでくれると思う。参加人数も増えてきたようだ。

(事務局) : 1回目は3人だったが徐々に増えてきて、3月14日の鉄道員(ぼっぼや)は、かなりの集客が見込めると予想している。

フィルムは、都立多摩図書館から借用している。映画リストを作るので、映画についてご意見をいただけると、事務局がフィルムを選ぶ参考になる。

(会 長) : 映画を選ぶことはできるが、自分は「4本の柱」が西砂学習館の地域活性化講座だと考えている。地域活性化講座も、予算が決められており、増やそうとすると何かを削らないといけないから、もっと予算を付けてもらいたいと願っている。

(委員C) : 地域学習館事業とは何か。地域活性化講座との違いはあるのか。

(事務局)：地域学習館事業とは、職員（教育委員会）が主催する事業で、地域活性化講座は地運協が企画・立案・運営する事業だ。西砂シアターは、学習館事業のくくりだが、地域活性化講座の冠をいただいている。

その他、【プロジェクト事業（①平和・人権、②子育て・青少年、③多文化共生・障害者理解、④家庭教育、⑤市民力向上）】、

【高齢者対象事業（①寿教室、②西砂は懐かしい歌を一緒に）】、

【市民企画講座（市民推進委員会が企画・立案・運営）】、

【団体企画型講座（学習館の利用団体が企画・立案・運営）】がある。

(委員C)：資料7で、地域学習館事業はどれにあたるのか。

(事務局)：「懐かしい歌を一緒に」、「西砂学習館まつり」、「みんなのコンサート」、「スマホ教室」、「西砂こども観劇会」が、地域学習館事業だ。プロジェクト事業など西砂学習館を会場に行う事業は、この表には記していない。

(委員C)：「みんなのコンサート」は、西砂学習館まつりコンサートのことか。

(事務局)：別の事業だ。

(委員C)：学習館事業について、地運協で協議する必要があるのかと思い質問した。

(事務局)：今までは学習館事業の情報提供をしていなかったため、混乱させてしまった。令和8年度の予算は、地域学習館事業を含めたものになっているのでご理解ください。

(会長)：地運協は、地域の実体に即した講座運営をしているので引き続きその展開をすればいいと思う。西一元氣通信は、地運協が地域に発信する媒体なので、地域活性化講座しか載せていない。

(委員A)：国分寺では、5館の公民館が毎月「公民館だより」を発行している。立川も発行してはどうか。そこに地運協の情報も掲載すればいいと考える。

(会長)：学習館だよりが発行されれば、西一元氣通信は不要かもしれない。自分たちの実践を発信し、それに対する反応をいただくことでPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回したい。

(事務局)：立川は、学習館だけでなく市民交流大学として生涯学習を広くとらえている。そのため「きらり・たちかわ」を発行している。

(委員A)：「きらり・たちかわ」は、発行数は約6,000部なので広く行き渡らない。毎月A3表裏程度の学習館だよりがあればいいと思う。

(9)「地域学習館主催事業等における食事提供や調理に関する指針」について

(事務局)：資料8を基に説明。

(委員A)：「子ども食堂」等との整合性は取れているのか。

(事務局)：主催者が、保健所に事前説明をすることで行っているようだ。

(委員A)：行政から補助金は出ているのか。

(事務局)：東京都や市が出しているが、対象は「子ども」だけだと、以前内金崎委員から情報提供があったと記憶している。

(会長)：サマーイベントで調理を含む講座をする場合には、2(料理講座等の参加者から食材料費の実費相当額を徴収する。)を適用すればいいのか。

(事務局)：事前に保健所に相談して、材料費の実費徴収が原則となる。

(委員D) : 大人でも子どもでも、材料費がかかったものは実費で一緒なのか。

(事務局) : 材料費総額を、参加者数で割った費用を徴収する。ただ、実費は当日徴収するため、インフルエンザなどで急に当日欠席の連絡があった場合は、誰かが負担しなければならない。

(委員F) : 今後もがにがら田んぼで収穫したお米は使用できるのか。

(事務局) : がにがら田んぼネットと公園緑地課が協議中のため、確かなことはわかりかねるが、使えなくなる可能性が高い。

(10) 各委員からの報告及び連絡事項について

(委員) : 西砂川地区文化会では、「初笑い！うどん大会」を無事に終えることができた。

今は、3月末を目途にて年1回の会報発行に向けて準備している。総会は5月23日(土)に開催する。今年は、役員改選の時期にあたるため役員を募集中だが、状況は大変厳しい。皆様のご協力をお願いします。

地域学校コーディネーターとしては、立川第七中学校の水曜教室のボランティアの確保に取り組んでいる。今のボランティア4人中3人が辞任されるが、現時点で2人は新たに引き受けてくれそうだ。少なくとも1学年に1人は配置したい。本日(3月12日)西砂寿教室の修講式があった。お楽しみ会で地域の若手演奏家に「フルートとピアノ演奏」をしてもらった。演奏者は、国立音楽大学の博士号を取ったという努力家で、「どのような集まりか、年代は何歳くらいか」等詳しく聞いたうえで、ニーズに応える演奏をしてくれた。ピアノ伴奏が決まらない場合は、CD等の音源を使うことも検討していたようだが、無事に見つかって良かった。寿会員の皆さんは、終了後も演奏者と一緒に写真を撮るなど非常に喜んでくださり、ほっとしている。

(委員) : 選曲もとても良かった。

(委員) : 毎年行っている「麦踏み」は、悪天候で中止になった。延期すると麦が伸びてきたりして時期を逸する可能性があるためだ。頃合いを見て伝承会の方が踏んでくださったと思う。

児童館の交流会に参加し、グループ討議ではいろいろな話を聞くことができた。

(会長) : 放課後の子どもたちの地域での過ごし方について課題があるようだ。地域の人たちには、それらの情報が入ってこない。学校も児童館もそれぞれが課題を抱えているので、青少健等の組織が情報を収集し、地域の人に向けた「見守りマップ」のようなものを作ってはどうか。「見守りマップ」には、大人が「この公園は気にかけて通ろう」「ここを通るときには子どもの様子を見よう」等の情報が載っているといいと思う。また、以前は「子ども110番」を盛んに周知していたが、最近はしていないのではないかと。子どもたちには「何かあればここにかけこんでいいよ」と知らせたい。

西砂小エリアは広いのに交番がない。松中小エリアは交番があるため、それだけでも抑止力になっていると思う。

(委員) : 西砂川地区文化会で、「コロナ前は卒・入学式に自治会長等を学校側が招いていたのに、現在は市議会議員やPTA、学校運営委員会の役員等しか出席していない。「地域のおじさん・お婆さんが、皆さんの門出をお祝いしていますよ」という雰囲気

気がなくなった」という会話をした。地域で皆さんを見守っていると子どもに伝えるためにも、元に戻すよう次回の学校運営協議会で要望したいと考えている。

(委員) : 3月3日(火)の西砂児童館地域交流会には、悪天候の中大勢の方に来ていただき、ありがとうございました。温かい雰囲気の中で、地域の皆さんが「子どもたちのために」と思ってくださっていることが改めて伝わり、いろいろなトラブルがあってもこの地域で育つ子どもは安心だと改めて感じた。

児童館や学童は、来年度に向けて準備を進めている。学童は新1年生だけで40人超の申込みがあり、「ランドセル来館」事業も松中小で復活する。「ランドセル来館」は就労支援なので、就労証明書を提出すればランドセルを背負ったまま児童館に来ることができるという事業だ。来年度は、「学童」「くるプレ」「ランドセル来館」と、子どもたちの放課後の居場所が一気に広がることになる。

3月15日(日)西砂子どもまつり。年間最大の事業で、地域の各団体にご協力をいただいて実施する。青少健、中里はやし連、都立武蔵村山高校書道部、少年野球チーム、子連、国立音楽大学、民生委員、いちばん子ども食堂、職員や子どもたちが運営するブース等。現時点では98人の申込みだが、さらに増えることを考えると、スタッフを含めて150人程度が予想される。当日は13時にスタートし、お店は13時30分から開始する。それが終わると子どもたちは春休みに入る。

人事異動があり、西砂児童館の館長を退くことになった。今後は北地区4館(西砂・上砂・若葉・幸)の統括をする立場になる。後任は、昨年まで西砂児童館の副館長をしていた職員が若葉児童館から戻ってきて務める。引継ぎも相談しながら進め、次回会議でご紹介したい。今後ともワーカーズコープ、西砂児童館をよろしくお願いします。

(事務局) : どちらで執務をされるのか。

(委員) : 上砂児童館がメインになるが、常に4館を回っていると思う。

(委員) : 来年度の12月までの講座について検討している。どうしても秋に講座が集中してしまうから、各期に分散したい。市民推進委員が減少しているのにも関わらず、多くの講座が企画されていて素晴らしいことだと思っている。

(委員) : きらり・たちかわ春号が、今秋発行された。表紙がガラリと変わったが、自分に関わっておらず、新部員とサポーターが考えてくれた。カラーだともっと綺麗だと思う。裏面は、学習館や図書館の連載をしていたが、今後はそれにこだわらず、その都度検討することになった。特集では、国文学研究所の二人の教授に取材し「和歌と俳句」を採りあげた。また、6月22日には、「ドーバーばばあ2」の映画上映と公演を行う。きらり・たちかわ夏号では、ようやく砂川学習館の特集を組むことができるため、昨日(3月11日)の市民推進委員会全体会で記事の内容について検討した。

(委員) : D委員のご尽力で、極地研に続き、国文研とも連携することができた。

(委員) : 表紙は素晴らしい写真なので、カラーで印刷できるように市に要望してほしい。

(委員) : 青少健では、3月6日(金)に理事会を行ったが、出席者が少なく、地域の状況を知ることができなかった。WBCが原因かと思う。

3月21日(土)は青少健の研修。こちらも参加者が少ないので、5月の総会では多くのご意見を伺いたいと思う。

西砂パソコン倶楽部では、2月17日～19日に「Excel 講座」(市民企画講座)を実施した。

3月3日～4日は、「初めてでも安心！写真編集の第一歩」講座(市民力向上プロジェクト)を実施した。ソフトがどんどんアップデートするので勉強が大変だったが、定員以上の人が参加してくれ、とてもいい経験ができた。

民生委員では、昨日(3月11日)立川市役所での新任研修に出席した。知らないことが多くあり、非常に勉強になる。がんばっていきたい。

(委員)：一番町傾聴クラブで、団体企画型講座に応募した。講師とようやく日程の調整ができ、9月16日・30日にアイムの第3学習室で「傾聴を始めよう」という講座を実施することになった。皆さんも是非お出かけください。

3月3日の西砂児童館地域交流会に参加した。大雨の中、多世代の人が集っていた。小笠原委員は、前半の説明は的確だったし、後半のグループワークも素晴らしいものだった。何年もやってこられた成果だと感心した。

西砂会館まつりにも参加した。近隣には老人会が2つしかなく、出演の多くはその人たちのカラオケだったので、例えば子どもたちの演奏を入れるなどすれば、更に地域に密着した行事になると思った。立川第七中学校の吹奏楽部の演奏は最後の締めくくりとして素晴らしかった。西砂川文化会とは共催なのか。

(委員)：いつも助けていただいているので、お返しの意味でお手伝いに行くという形で共催ではない。

(委員)：西砂会館は場所が悪いが、会報の用紙サイズを変える等できることがまだまだあり、伸びしろは大きいと思っている。

(事務局)：2月28日に「牛島満と沖縄戦」講座(平和・人権プロジェクト)をアイムで実施した。93人の参加を得ていい学びができたと思う。

西砂パソコン倶楽部さんに講師を依頼した「初めてでも安心！写真編集の第一歩」講座では、定員以上を受付けたため講師にはご負担をおかけしたが、参加者の皆さんは休憩時間返上で熱心に楽しそうに学ばれていた。

また、本日(3月12日)は西砂寿教室の修講式だった。1年間事故やけが無くすごせたことは、運営委員長はじめ会員のみなさんのおかげだと感謝している。

(事務局)：3月9日に五日市街道沿いの看板を交換した。

西砂シアターのために、3月13日に都立多摩図書館での16ミリ映写機講習を受講する。

教育委員会に在籍していたときに、卒業式で代表としてあいさつしたことがある。確かに当時は地域のそうそうたるメンバーや民生委員もご臨席になっていた。

図書館利用者の男性が、小便器の周辺を汚す等してトイレの利用に問題があるため、シルバー会員と協力して対応している。本日(3月12日)、市の法務専門員(弁護士)と相談したが、有益な情報を得られたので適宜対応していく。

西砂児童館の地域交流会では、学童職員から「小4の壁と言われている中、小2の段階で学童に通えなくなる子がいる」という話を聞いて、大変に厳しい状況を知ることができた。有意義な会に参加できて良かったと思っている。

3 その他

(1) 学校だよりについて

(事務局)：西砂小、松中小(令和8年3月分)の学校だよりと令和8年度西砂小学校の行事予定をお配りした。立川第七中学校はホームページにアップされていなかった。

(委員)：立川第七中学校吹奏楽部の「春一番コンサート」が3月22日に開催される。是非また皆さんで応援してください。

(2) 次回(令和8年度 第1回)の日程について

令和8年度 第1回運営協議会の日程 *令和8年4月28日(火) 18:00～

<配布資料>

- ・資料1 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録(第10回)(案)
- ・資料2 令和7年度 地域学習館運営協議会交流会 議事録
- ・資料3 大橋会長作成「にしすな親子塾」実施状況報告
- ・資料4 講座名「にしすな親子塾～アロマ石鹸をつくろう」アンケート結果
- ・資料5 西一元氣通信(第15号)(案)
- ・資料6 「6.西砂学習館運営協議会 報告(中間案)」
- ・資料7 令和8年度 西砂学習館事業・地域活性化講座の日程について(案)
- ・資料8 地域学習館主催事業における食事提供や調理に関する指針

(資料番号なし) 学校だより 西砂小学校、松中小学校